

校正体系保証書

弊社の商品（測定機器及び試験機器）は、以下のように国家計量標準へのトレーサビリティ体系を確立していることを証明致します。

記

弊社は、計量法トレーサビリティ制度(JCSS^{※1})の登録事業者を有しており^{※2}、校正業務には国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ, AIST^{※3})が保有する国家計量標準につながる標準器を使用しております。したがって、弊社が発行する JCSS 標章付き校正証明書に記載の校正結果は、国家計量標準へのトレーサビリティが確保されています。

また、弊社の生産、検査、校正サービス部門においても、JCSS 登録事業者によって校正された標準器にトレーサブルな標準器を使用して商品(測定機器)の検査・校正を実施しており、その校正結果の国家計量標準へのトレーサビリティを確保しております。

JCSS の認定機関であります独立行政法人 製品評価技術基盤機構 認定センター(IAJapan, NITE^{※4})は、国際試験所認定協力機構(ILAC^{※5})及びアジア太平洋認定協力機構(APAC^{※6})に署名しておりますため、弊社が発行する JCSS 標章付き校正証明書は、ILAC 及び APAC に署名している国・経済地域において有効となります。

※1) Japan Calibration Service System を示す略称であり、JCSS 登録事業者は、ISO/IEC 17025 の要求事項に適合しております。

※2) 弊社における JCSS 登録事業者は、以下の 6 部門です。

- ・品質保証部 標準管理課
- ・宮崎工場
- ・宇都宮キャリブレーションセンタ
- ・川崎キャリブレーションセンタ
- ・広島キャリブレーションセンタ
- ・営業サービス本部

※3) National Metrology Institute of Japan,
National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

※4) International Accreditation Japan, National Institute of Technology and Evaluation

※5) International Laboratory Accreditation Cooperation

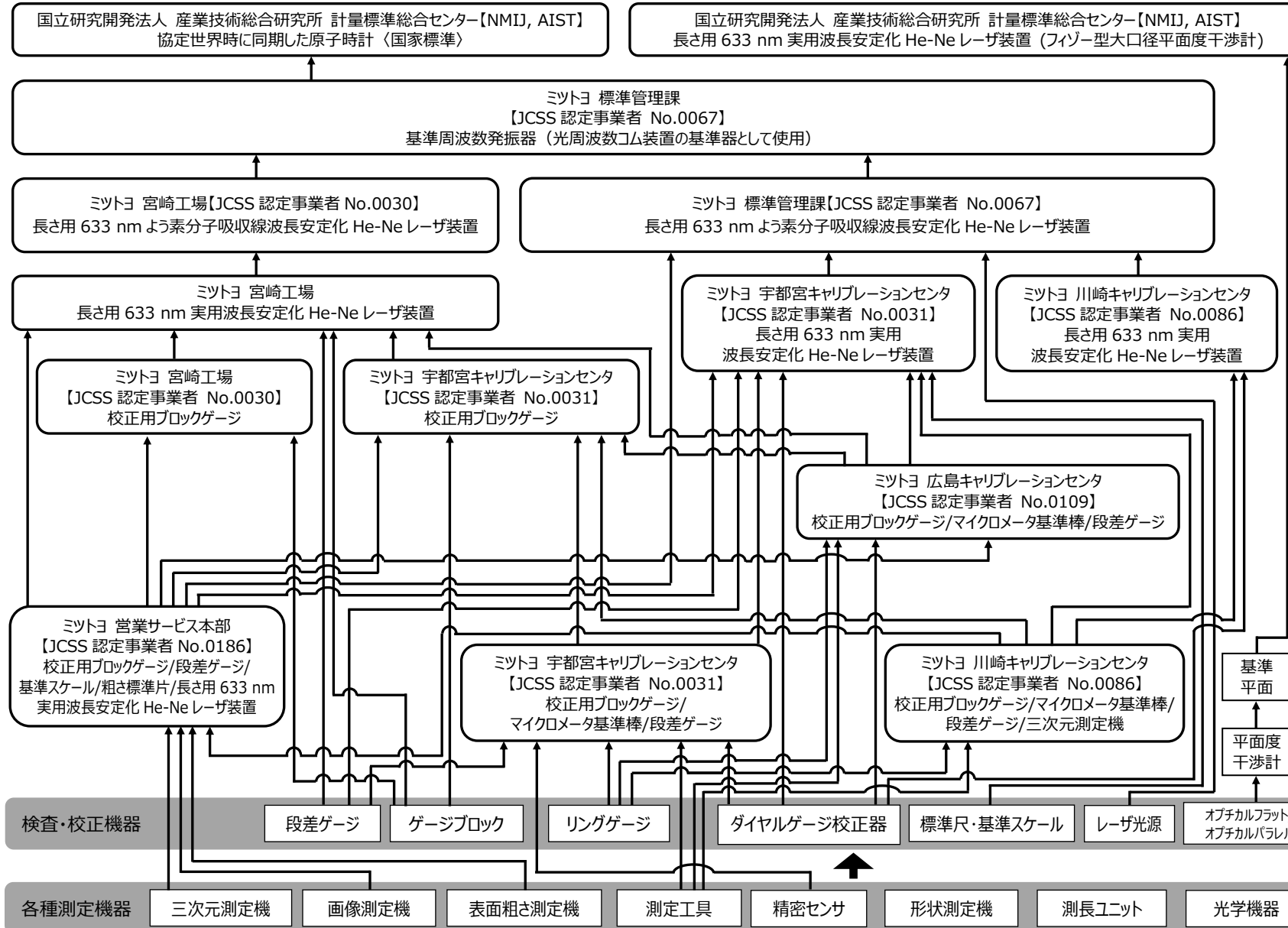
※6) Asia Pacific Accreditation Cooperation

以上

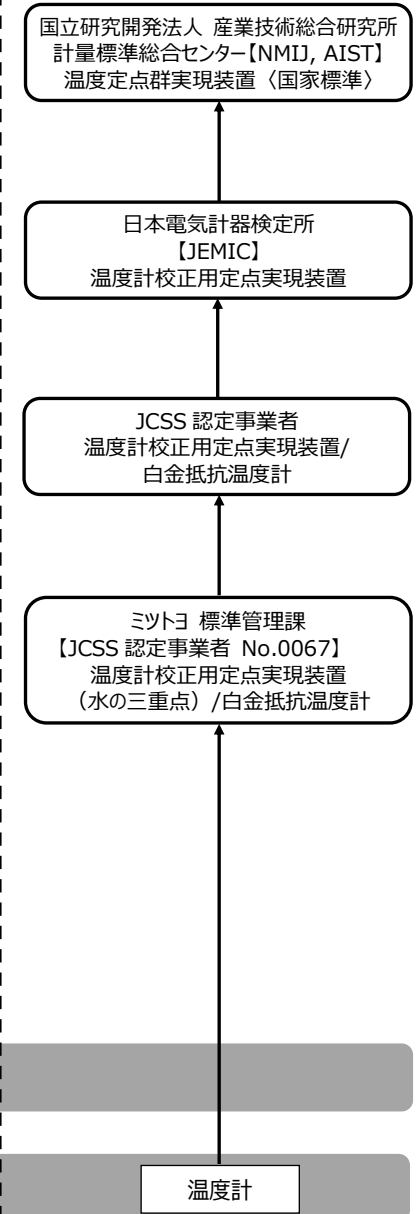
2024-11-15 現在

ミットヨ商品のトレーサビリティ体系－全体概要－

長さ区分のトレーサビリティ

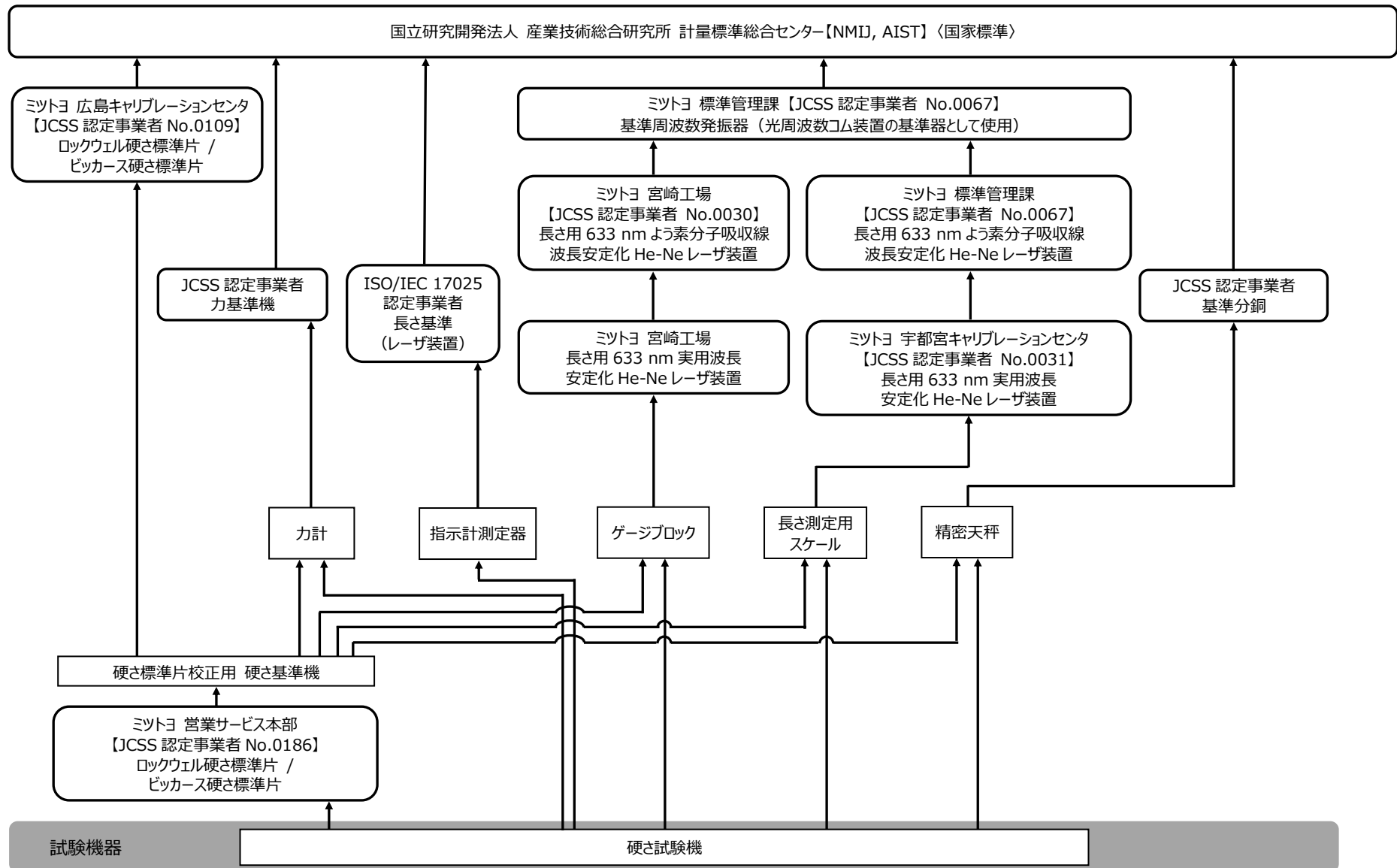


温度区分のトレーサビリティ



◆ この体系図はミットヨ製品の一部について、トレーサビリティの概略を示したものであり、個々の製品の詳細な体系図については、個別に発行しています。

硬さ区分のトレーサビリティ



◆ この体系図はミットヨ製品の一部について、トレーサビリティの概略を示したものであり、個々の製品の詳細な体系図については、個別に発行しています。

JCSS 認定証 – 写し –

【標準管理課】



20240206評基第009号
2024年2月16日

認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認定識別: JCSS 0067 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社ミットヨ 品質保証部 標準管理課

法人の名称: 株式会社ミットヨ

適合性評価機関の所在地: 神奈川県川崎市高津区坂戸一丁目20番1号

認定範囲: 長さ、温度 (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2022年7月19日

認定の有効期限: 2026年7月18日

初回認定発効日: 2017年4月28日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 齊藤和則

- IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
- 相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017年4月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
- IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

(別紙)

登録 (認定) に係る区分: 長さ

法律に基づく初回登録年月日: 2017年4月28日

国際 MRA 対応初回認定発効日: 2017年4月28日

校正手法の区分の呼称 [登録更新 (認定発効) 年月日]: 波長計量器 [2022年7月19日]

恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別: 恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
波長計量器		633 nm 領域の波長	1.4×10^{-13}
		532 nm 領域の波長	1.4×10^{-13}

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

注) 波長計量器の校正測定能力は、被校正器物に係る不確かさ要因を含んでいません。

登録 (認定) に係る区分: 温度

法律に基づく初回登録年月日: 2018年8月30日

国際 MRA 対応初回認定発効日: 2018年8月30日

校正手法の区分の呼称 [登録更新 (認定発効) 年月日]: 接触式温度計 [2022年7月19日]

恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別: 恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
接触式温度計	抵抗温度計 (比較校正法)	4線式白金抵抗温度計 (100 Ω)* 0 °C以上 40 °C以下	6 mK
	指示計器付温度計 (比較校正法)	0 °C以上 40 °C以下	8 mK

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

* 抵抗値 (R(T₉₀)) の温度換算値

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から4年後です。

2024/02/16 JCSS0067 1/1

この認定証は、NITE のホームページより引用し、掲載しております。 <https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/labsearch/pdf/D0067M.pdf>



20240531評基第020号
2024年9月27日

認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認定識別: JCSS 0030 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社ミットヨ 宮崎工場

法人の名称: 株式会社ミットヨ

適合性評価機関の所在地: 宮崎県宮崎市田野町甲 10652 番地 1

認定範囲: 長さ (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2024 年 11 月 2 日

認定の有効期限: 2028 年 11 月 1 日

初回認定発効日: 2004 年 8 月 13 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 堀 坂 和 秀

・IAJapan(独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター)は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)の MRA(相互承認取決め)に署名している認定機関です。
・相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準(該当する国際規格)適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項(方針)を指します。
・この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです(2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミュニケ参照)。
・IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

(別紙)

登録(認定)に係る区分: 長さ
法律に基づく初回登録年月日: 1994 年 5 月 2 日
国際 MRA 対応初回認定発効日: 2004 年 8 月 13 日
校正手法の区分の呼称 [登録更新(認定発効)年月日]: 一次元寸法測定器 [2024 年 11 月 2 日]
恒久的施設で行う校正/現地校正の別: 恒久的施設で行う校正
校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %) [L=呼び寸法(mm)]
一次元寸法測定器	ブロックゲージ (光波干渉測定法による)	0.1 mm 以上 100 mm 以下	0.020 μ m
		100 mm 超 250 mm 以下	(0.010+0.00010 $\cdot$ L) μ m
		250 mm 超 1000 mm 以下	(0.010+0.00012 $\cdot$ L) μ m
	ブロックゲージ (比較測定法による)	0.1 mm 以上 100 mm 以下	0.06 μ m
		100 mm 超 1000 mm 以下	(0.04+0.00043 $\cdot$ L) μ m
	各種長さ測定用校正器で 測定面が平面であるもの (光波干渉測定法による)	1 mm 超 2200 mm 以下	(0.21+0.39 $\cdot$ L /1000) μ m
		1 mm 以下	0.030 μ m

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2024/09/27 JCSS0030 1/1



20230220評 基 第016号
2023年12月1日

認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認定識別: JCSS 0031 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社ミットヨ 営業サービス本部
宇都宮キャリブレーションセンタ

法人の名称: 株式会社ミットヨ

適合性評価機関の所在地: 栃木県宇都宮市下栗町 2200 番地 1

認定範囲: 長さ (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2020 年 12 月 8 日

認定の有効期限: 2024 年 12 月 7 日

初回認定発効日: 1994 年 5 月 2 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 齊藤 和則

・IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
・相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
・この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAP 共同コミニケ参照)。
・IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

(別紙)

登録 (認定) に係る区分: 長さ
法律に基づく初回登録年月日: 1994 年 5 月 2 日
国際 MRA 対応初回認定発効日: 1994 年 5 月 2 日
校正手法の区分の呼称 [登録更新 (認定発効) 年月日]: 一次元寸法測定器、形状測定器 [2020 年 12 月 8 日]
(*) [2023 年 2 月 22 日] (**) [2023 年 12 月 1 日]
恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別: 恒久的施設で行う校正
校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約95%) [L = 呼び寸法 (mm)]
一次元寸法 測定器	ブロックゲージ (比較測定法による)	0.5 mm 以上 100 mm 以下	0.06 μm
	各種長さ測定用校正器で 測定面が平面であるもの (光波干渉測定法による)	2100 mm 以下	$(0.18 + 0.38 \times L/1000) \mu m$
	各種長さ測定用校正器で 測定面が平面であるもの (比較測定法による)	25 mm 以上 1000 mm 以下	$(0.4 + L/1000) \mu m$
		0.5 mm 以上 1060 mm 以下	$(0.5 + L/1000) \mu m$
	標準尺	350 mm 以下	$(0.10 + 0.12 \times L/1000) \mu m$
		350 mm 超 1000 mm 以下	$(0.06 + 0.25 \times L/1000) \mu m$
	マイクロメータ	25 mm 以下 (マイクロメータヘッドに限る)	0.4 μm
		500 mm 以下	$(1.2 + L/175) \mu m$
	指示マイクロ メータ (*)	100 mm 以下	$(0.7 + L/250) \mu m$
		インジ ケータ部	$\pm 0.06 \text{ mm}$ $(0.3 + L/180) \mu m$
	ノギス	600 mm 以下	0.02 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.03 mm
	ハイトゲージ	600 mm 以下	0.015 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.020 mm
	デプスゲージ	600 mm 以下	0.02 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.03 mm
ダイヤルゲージ校正器	ダイヤルゲージ校正器	5 mm 以下 (0.0002 mm 目盛)	0.20 μm
		25 mm 以下	0.4 μm
		100 mm 以下	$(0.1 + 1.2 \times L/1000) \mu m (*)$
	ダイヤルゲージ	5 mm 以下 (目量 0.001 mm 及び 0.002 mm)	0.5 μm
		10 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.1 μm
		10 mm 超 50 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.3 μm
		50 mm 超 100 mm 以下 (目量 0.01 mm)	2.2 μm
		50.8 mm 以下 (デジタル式)	1.1 μm
		50.8 mm 超 100 mm 以下 (デジタル式)	1.7 μm

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2023/12/01 JCSS0031 1/2

【宇都宮キャリブレーションセンタ】

(別紙)

一次元寸法 測定器	てこ式ダイヤルゲージ	0.6 mm 以下 (目量0.001 mm及び0.002 mm)	0.5 μ m
		1.6 mm 以下 (目量0.01 mm)	1.3 μ m
	シリンダゲージ	6 mm 以上 400 mm 以下	0.7 μ m
	電気マイクロメータ	$\pm 5 \mu$ m	0.15 μ m
		$\pm 200 \mu$ m	0.2 μ m
		$\pm 2000 \mu$ m	1.0 μ m
	リングゲージ	6 mm 以上 80 mm 以下	0.7 μ m
		80 mm 超 120 mm 以下	0.8 μ m
形状測定器	球 (平均直径)	10 mm 以上 17 mm 未満	(0.024 + 2.6 $\times$ L/1000) μ m
		17 mm 以上 45 mm 以下 (**)	(0.06 + 0.4 $\times$ L/1000) μ m

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から4年後です。

2023/12/01 JCSS0031 2/2

この認定証は、NITE のホームページより引用し、掲載しております。
<https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/labsearch/pdf/D0031M.pdf>



20230926評基第018号
2024年1月30日

認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認定識別: JCSS 0086 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社ミットヨ 営業サービス本部
川崎キャリブレーションセンタ

法人の名称: 株式会社ミットヨ

適合性評価機関の所在地: 神奈川県川崎市高津区坂戸一丁目20番1号

認定範囲: 長さ (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2024年2月4日

認定の有効期限: 2028年2月3日

初回認定発効日: 2020年2月4日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 齊藤和則

・IAJapan(独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター)は、ILAC(国際試験所認定協力機構)及び APAC(アジア太平洋認定協力機構)の MRA(相互承認取決め)に署名している認定機関です。
・相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準(該当する国際規格)適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項(方針)を指します。
・この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです(2017年4月 ISO-ILAC-IAF 共同コミニケ参照)。
・IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

(別紙)

登録(認定)に係る区分: 長さ

法律に基づく初回登録年月日: 2020年2月4日

国際 MRA 対応初回認定発効日: 2020年2月4日

校正手法の区分の呼称【登録更新(認定発効)年月日】: 一次元寸法測定器 [2024年2月4日] (*) [2023年9月26日]

恒久的施設で行う校正/現地校正の別: 恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %) [L は測定長 (mm)]
一次元寸法測定器	マイクロメータ(*)	25 mm 以下 (マイクロメータヘッドに限る)	0.6 μ m
		500 mm 以下	(1.0 + L/250) μ m
	ノギス(*)	1000 mm 以下	0.02 mm
	ハイトゲージ(*)	1000 mm 以下	0.015 mm
	デプスゲージ(*)	600 mm 以下	0.02 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.03 mm
	指示マイクロメータ(*)	マイクロメータ部 100 mm 以下	(0.6 + L/250) μ m
		インジケータ部 ± 0.06 mm	(0.4 + L/250) μ m
	シリンドリッジ(*)	6 mm 以上 400 mm 以下	0.5 μ m
	ダイヤルゲージ校正器	インジケータ検査機 100 mm 以下	(0.1 + 2.6L/1000) μ m
	リングゲージ	1.75 mm 以上 80 mm 以下	0.7 μ m
		80 mm 超 140 mm 以下	0.8 μ m
		140 mm 超 200 mm 以下	1.0 μ m
		200 mm 超 250 mm 以下	1.1 μ m
		250 mm 超 300 mm 以下	1.3 μ m
	ダイヤルゲージ	50.8 mm 以下 (デジタル式)	0.8 μ m
		50.8 mm 超 100 mm 以下 (デジタル式)	1.2 μ m
		5 mm 以下 (目量 0.001 mm 及び 0.002 mm)	0.6 μ m
		10 mm 以下 (目量 0.01 mm)	0.9 μ m
		10 mm 超 50 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.5 μ m
		50 mm 超 100 mm 以下 (目量 0.01 mm)	2.2 μ m
	てこ式ダイヤルゲージ	0.6 mm 以下 (目量 0.001 mm 及び 0.002 mm)	0.5 μ m

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から4年後です。

2024/01/30 JCSS0086 1/2

【川崎キャリブレーションセンタ】

(別紙)

		1.6 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.0 μm
	各種長さ測定用校正器で測定面が平面であるもの (比較測定法による) (*)	マイクロメータ基準棒 25 mm 以上 1000 mm 以下	$(0.5 + 1.2L/1000) \mu\text{m}$

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

校正手法の区分の呼称「登録（認定発効）年月日」：形状測定器「2023 年 9 月 26 日」

恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
形状測定器	座標測定機用ゲージ（球）	Φ30 mm	0.97 μm

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2024/01/30 JCSS0086 2/2

この認定証は、NITE のホームページより引用し、掲載しております。 <https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/labsearch/pdf/D0086M.pdf>



20221117評基第003号
2023年6月7日

認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認定識別: JCSS 0109 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社ミットヨ 営業サービス本部
広島キャリブレーションセンタ

法人の名称: 株式会社ミットヨ

適合性評価機関の所在地: 広島県呉市郷原町一ノ松光山 10626 番 62

認定範囲: 長さ、硬さ (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2023年6月7日

認定の有効期限: 2027年6月6日

初回認定発効日: 2002年4月11日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長 齊藤和則

・IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決め) に署名している認定機関です。
・相互承認取決めに係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
・この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAP 共同コミニケ参照)。
・IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

(別紙)

登録 (認定) に係る区分: 長さ

法律に基づく初回登録年月日: 2002 年 4 月 11 日

国際 MRA 対応初回認定発効日: 2002 年 4 月 11 日

校正手法の区分の呼称 [登録更新 (認定発効) 年月日]: 一次元寸法測定器、形状測定器 [2023 年 6 月 7 日]

恒久的施設で行う校正 / 現地校正の別: 恒久的施設で行う校正

校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %) [L=呼び寸法 (mm)]
一次元寸法 測定器	ダイヤルゲージ	5 mm 以下 (目量 0.001 mm 及び 0.002 mm)	0.6 μ m
		10 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.6 μ m
		10 mm 超 50 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.8 μ m
		50 mm 超 100 mm 以下 (目量 0.01 mm)	3.0 μ m
		50.8 mm 以下 (デジタル式)	0.8 μ m
		50.8 mm 超 100 mm 以下 (デジタル式)	1.2 μ m
	てこ式ダイヤルゲージ	0.6 mm 以下 (目量 0.001 mm 及び 0.002 mm)	0.5 μ m
		1.6 mm 以下 (目量 0.01 mm)	1.1 μ m
	シリンダゲージ	6 mm 以上 400 mm 以下	0.5 μ m
	ダイヤルゲージ校正器	5 mm 以下	0.20 μ m
		25 mm 以下	0.4 μ m
	ノギス	600 mm 以下	0.02 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.03 mm
	ハイトゲージ	600 mm 以下	0.015 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.020 mm
	デプスゲージ	600 mm 以下	0.02 mm
		600 mm 超 1000 mm 以下	0.03 mm
	マイクロメータ	25 mm 以下 (マイクロメータヘッドに限る)	0.4 μ m
		500 mm 以下	(1.2 + L/175) μ m
	指示マイクロメータ	100 mm 以下	(0.9 + L/250) μ m
		インジケータ部 ± 0.06 mm	(0.3 + L/125) μ m
	各種長さ測定用校正器で 測定面が平面であるもの (比較測定法による)	25 mm 以上 1000 mm 以下	(0.5 + 1.2 L/1000) μ m
		リングゲージ	
		6 mm 以上 80 mm 以下	0.7 μ m
		80 mm 超 120 mm 以下	0.8 μ m

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2023/06/07 JCSS0109 1/3

この認定証は、NITE のホームページより引用し、掲載しております。 <https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/labsearch/pdf/D0109M.pdf>

【広島キャリブレーションセンタ】

(別紙)

形状測定器	表面性状	深さ 0.3 μm 以上 20 μm 以下	$2 \times \sqrt{6.70^2 + (2.74 \times d)^2}$ nm $d = \text{深さ} (\mu\text{m})$
		算術平均粗さ 0.1 μm 以上 5 μm 以下	$2 \times \sqrt{6.82^2 + (2.74 \times Ra)^2}$ nm $Ra = \text{算術平均粗さ} (\mu\text{m})$
		最大高さ粗さ 0.3 μm 以上 20 μm 以下	$2 \times \sqrt{35.8^2 + (2.74 \times Rz)^2}$ nm $Rz = \text{最大高さ粗さ} (\mu\text{m})$

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2023/06/07 JCSS0109 2/3

(別紙)

登録（認定）に係る区分：硬さ
法律に基づく初回登録年月日：2007 年 2 月 21 日
国際 MRA 対応初回認定発効日：2007 年 2 月 21 日
校正手法の区分の呼称〔登録更新（認定発効）年月日〕：ロックウェル硬さ試験機等〔2023 年 6 月 7 日〕、
ビッカース硬さ試験機等〔2023 年 6 月 7 日〕
恒久的施設で行う校正／現地校正の別：恒久的施設で行う校正
校正測定能力

校正手法の 区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
ロックウェル 硬さ試験機等	ロックウェル 硬さ標準片	20 HRC 以上 25 HRC 以下	0.43 HRC
		25 HRC 超 35 HRC 未満	0.44 HRC
		35 HRC 以上 45 HRC 以下	0.42 HRC
		45 HRC 超 55 HRC 未満	0.39 HRC
		55 HRC 以上 65 HRC 以下	0.35 HRC
ビッカース 硬さ試験機等	ビッカース 硬さ標準片	85 HV 以上 1050 HV 以下 (試験力 0.9807 N 以上 490.3 N 以下)	$d > 193 \mu\text{m}$ 2.2 % $d \leq 193 \mu\text{m}$ $(228 / d) + 1.02 \%$ $d = \text{くぼみ対角線長さ}$ (但し、式中の d は μm)

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2023/06/07 JCSS0109 3/3

この認定証は、NITE のホームページより引用し、掲載しております。 <https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/labsearch/pdf/D0109M.pdf>

【営業サービス本部】



20220922評基第007号
2023年3月7日

認定証

独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センターは、以下の適合性評価機関を JCSS 認定プログラムの校正事業者として認定する。

認定識別: JCSS 0186 Calibration

適合性評価機関の名称: 株式会社ミットヨ 営業サービス本部

法人の名称: 株式会社ミットヨ

適合性評価機関の所在地: 栃木県宇都宮市平松本町 796 番地 1 号

認定範囲: 長さ、硬さ (詳細は別紙のとおり)

認定要求事項: ISO/IEC 17025:2017

認定スキーム文書 (JCSS 認定) に記載した
認定要求事項

認定発効日: 2023 年 3 月 22 日

認定の有効期限: 2027 年 3 月 21 日

初回認定発効日: 2006 年 12 月 27 日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

認定センター所長

斉藤和則

- IAJapan (独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター) は、ILAC (国際試験所認定協力機構) 及び APAC (アジア太平洋認定協力機構) の MRA (相互承認取決) に署名している認定機関です。
- 相互承認取決に係る要求事項は、認定の基準 (該当する国際規格) 適合義務の他に、技能試験参加要件及び定期的な審査の受審並びに MRA 対応事業者に対するトレーサビリティ要求事項 (方針) を指します。
- この事業者は ISO/IEC 17025:2017 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項に適合しています。この認定は当該事業者が認定された範囲において一貫して技術的に有効な試験結果及び校正を提供するために必要な技術能力要求事項及びマネジメントシステム要求事項を満たしていることを証明するものです (2017 年 4 月 ISO-ILAC-IAF 共同コミニケ参照)。
- IAJapan ウェブサイトで公開している認定証が最新の認定情報です。

(別紙)

登録 (認定) に係る区分: 長さ

法律に基づく初回登録年月日: 2006 年 12 月 27 日

国際 MRA 対応初回認定発効日: 2006 年 12 月 27 日

校正手法の区分の呼称 [登録更新 (認定発効) 年月日]: 形状測定器 [2023 年 3 月 22 日]

恒久的施設で行う校正/現地校正の別: 現地校正

校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %) [L=測定長さ(mm)]
形状測定器	座標測定機	61 mm 以下	$(0.1+0.6 \cdot L/1000) \mu\text{m}$
		650 mm 以下	$(0.13+0.11 \cdot L/1000) \mu\text{m}$
		1000 mm 以下	$(0.2+0.2 \cdot L/1000) \mu\text{m}$
		10000 mm 以下	$(0.1+0.6 \cdot L/1000) \mu\text{m}$
	表面性状	算術平均粗さ R_a	0.2 μm
			0.5 μm
			1.5 μm
		最大高さ粗さ R_z	1.5 μm
			3.0 μm
			8.5 μm
			0.02 μm
			0.15 μm

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録 (認定) に係る区分: 硬さ

法律に基づく初回登録年月日: 2019 年 3 月 22 日

国際 MRA 対応初回認定発効日: 2019 年 3 月 22 日

校正手法の区分の呼称 [登録更新 (認定発効) 年月日]: ロックウェル硬さ試験機等、ビッカース硬さ試験機等 [2023 年 3 月 22 日]

恒久的施設で行う校正/現地校正の別: 現地校正

校正測定能力

校正手法の区分の呼称#	種類	校正範囲	拡張不確かさ (信頼の水準約 95 %)
ロックウェル硬さ試験機等	ロックウェル硬さ試験機	20 HRC 以上 25 HRC 以下	0.45 HRC
		25 HRC 超 35 HRC 未満	0.46 HRC
		35 HRC 以上 45 HRC 以下	0.44 HRC
		45 HRC 超 55 HRC 未満	0.41 HRC
		55 HRC 以上 65 HRC 以下	0.37 HRC
ビッカース硬さ試験機等	ビッカース硬さ試験機	85 HV 以上 1050 HV 以下 (試験力 0.9807 N 以上 490.4 N 以下)	くぼみ対角線長さ (但し式中の d は μm) a) $d > 170 \mu\text{m}$ 2.4 % b) $d \leq 170 \mu\text{m}$ ($230/d + 1.1$) %

#校正の方法は、全て自社で開発された手順です。

登録の有効期限は、登録又は登録更新年月日から 4 年後です。

2023/03/07 JCSS0186 1/1

この認定証は、NITE のホームページより引用し、掲載しております。 <https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/labsearch/pdf/D0186M.pdf>